

平成28年度

事業報告書

平成28年4月 1日から

平成29年3月31日まで

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会

総括

平成27年度に発生した事故を受けて、様々な対策を講じたが、28年度は、これらの対策を遵守しつつ、その効果についての検証を重ねた。その結果、今後とも現状の体制を維持していくことで、事故の抑止に有効であることが実証された。しかし、事故はいかなる状況下で発生するか予測できないことから、今後とも危険予知を図り、二度と事故を起こさないことを最優先にして、事業に取り組んでいく。

28年度は、27年度より運航日数、発航回数が増えたものの、26年度より少なく、未だ事故の影響が残っているものと思われる。その中で、平日トレーニングを行うウィークリーコースの日数が増加しており、平日の需要が見込めることから、積極的に周知を図り、飛行機会を増やす試みをする必要がある。

体験飛行の回数は、27年度より増加し、多くの方が空を飛ばしたいという希望を持っていることを表している。今後とも、いろいろな機会を捉えて、周知する必要がある。

27年度から実施しているグライダー競技講習会は、今年度第2回を行い、ある程度の成果が見られたが、継続的に実施する上で、参加者がさらに意欲的に取り組むためのプログラム作りをする必要がある。

ヴィンテージグライダーに関しては、複座グライダーMG19の修復が終わり、多くの人々が体験できる素地が整った。今後、これらの機材を用いて、ヴィンテージグライダーの認知度向上を図り、合わせてグライダースポーツのPRを行う。

事業活動

I グライダーの操縦・整備技術の伝承と指導者の養成事業（公益目的事業1）

グライダー・モーターグライダーの運航は、4月16日（土）から11月12日（土）まで行った。運航実績は、以下のとおりであった。（括弧内の増減数は、対前年比）

- ・運航日数：162日（20日増）
- ・運航割合（運航した日数/運航期間の日数）：77%（10%増）
- ・グライダーの飛行回数：2,740回（20回増）
- ・グライダーの飛行時間：1,444時間（59時間減）
- ・モーターグライダーの飛行回数：275回（94回減）
- ・モーターグライダーの飛行時間：325時間（87時間減）

1. グライダースクールにおける操縦に関する指導

① グライダースクールの実施

- ・サマートレーニングコース
実施回数：7回
延べ参加人数：216名（67名減）
飛行回数：563回（158回減）
飛行時間：445時間（66時間増）
- ・ウィークリーコース（シーズン中の平日に随時実施）
飛行日数：61日（19日増）
飛行回数：241回（125回減）
飛行時間：191時間（165時間減）
- ・ウィークエンドコース（シーズン中の土日祝日に実施）
飛行日数：56日間（2日減）
飛行回数：1,255回（66回減）
飛行時間：817時間（176時間減）

② グライダーキャンプの受入れ

- ・大阪大学等OB会
8月1日（月）～8月5日（金）
参加人数：78名（11人増）
飛行回数：147回（20回増）
飛行時間：108時間（60時間増）

2. たきかわスカイパークを利用する航空機に対しての整備支援

- 自社機を含む常駐機：31機
- 外来機：2機
- 出張整備：2機

また、無線局登録検査等事業者として、自社機を含む常駐機の航空機局無線機検査業務を実施した。

検査件数：24件

3. 特定操縦技能審査の実施

審査件数：23名（グライダー22名、軽飛行機1名）

4. 滝川グライダー競技講習会2016の実施

今後予定している競技会の開催のために、競技会の運営ノウハウを習得すると同時に、北海道における競技ポテンシャルを検証することを目的とした講習会を実施した。なお、toto（スポーツ振興くじ助成金）および（一財）石狩川振興財団支援助成事業助成金を活用した。

開催期間：5月23日（月）～6月3日（土）

参加人数：延べ23名

飛行回数：27回

飛行時間：54時間

5. 各種受験に関する指導

① 実地試験対策講習会の開催

自家用操縦士（滑）上級実地試験に3名受験した。（2名増）

7月7日（木） 1名が受験し、合格した。

10月11日（火） 2名が受験し、合格した。

② 日本滑空記章、国際滑空記章に関する指導及び試験

クラブ会員及びスクール参加者に対して、16件実施した。（2件減）

A章 4件

B章 4件

C章 4件

銅章 2件

滞空1時間 1件

獲得1,000m 1件

6. アシスタントインストラクター制度の活用

アシスタントインストラクター制度を活用して、操縦教育証明（滑）取得希望者に対し、支援を行った。

対象者数：2名

飛行回数：22回

飛行時間：5時間44分

7. 各種講習会の実施

① 北海道滑空協会が開催した、北海道滑空協会指導者講習会の主管

テーマ：異常姿勢からの回復操作の実施

主催：北海道滑空協会

協力：（公社）北海道スカイスポーツ協会

実施期間：9月24日（土）～9月25日（日）

講師：櫻井玲子氏

参加人数：11名

飛行回数：11回

講習内容：複座機を使って、スピンからの回復操作および低空での異常姿勢からの回復、着陸について、座学および複座機を使っての実地体験を行った。

② スカイスポーツに係る講習会への講師派遣

・管制技術交流会

日時：11月17日（木） 13:15～17:00

場所：札幌国際ビル8F国際ホール

主催：札幌航空交通管制部

講演テーマ：北海道におけるグライダーの運航について

8. 国際交流事業の推進

① 飛行教員2名の海外への派遣

ベナラ滑空場で開催された世界選手権大会において、運営ノウハウを得るとと

もに、海外のグライダークラブにおいて、滑空技術の向上のための情報交換を行った。

・派遣者：日口裕二

期間：平成28年12月21日（水）～平成29年1月18日（水）

派遣先：ニュージーランド国オマラマ滑空場

・派遣者：清水拓智

期間：平成29年1月14日（土）～30日（月）

派遣先：オーストラリア国ベナラ滑空場、タコモール滑空場

② オーストラリア国より曳航機パイロット2名の招聘

招聘者：ロイド・バウム氏（12週間）

ジョン・ブライス氏（9週間）

③ 海外のトップクラスのグライダーパイロットの招聘

北海道においてのグライダーのクロスカントリーに関する可能性をさらに広げるために、世界のトップレベルのグライダーパイロットを招聘した。

・招聘者：ギャビン・ウィルス氏（ニュージーランド国、オマラマ滑空場）

5月16日（月）～6月7日（火）

滝沢信三氏（オーストラリア国、ナロマイン滑空場）

5月18日（水）～6月5日（日）

9. 国内滑空団体との連携

全国グライダークラブミーティングに参加し、各クラブが抱える課題や我が国の滑空界の底上げのための提案などについて意見交換を行った。

・第4回全国グライダークラブミーティング

幹事クラブ：（公社）宮城県航空協会

開催期間：11月26日（土）～27日（日）

開催場所：宮城県角田市

参加者：日口裕二

清水智宏

II スカイスports啓発事業（公益目的事業2）

1. 市内・外の学校を対象とした体験学習等の受入

① 市内全小学校および新十津川小、空知太小の4～6年生までの内、1学年（一部2学年）について、10月21日～11月11日までの間で、軽飛行機による体験搭乗を企画し、空から眺め、郷土について学習する場を提供した。

受け入れ学校数：2校3学年

体験搭乗者数：138名

② 市内外の小中学校から児童・生徒の施設見学を受け入れた。（2校42名）

空知管内の中学校から依頼されて、キャリア教育推進事業の一環としての職場体験学習を受け入れた。（2校4名）

2. こどもの日特別企画「こどもたちに大空のプレゼント」の開催

道内のこどもたちを対象に、体験搭乗や紙飛行機教室を実施した。なお、当日後半に雨天で飛行できなかったため、飛行できなかった当選者には、後日都合の良い日に体験できるようにしていたが、再来場者が少なかつたため、体験者数が減少した。

開催日：5月5日（木・祝）

体験飛行応募総数：181名（38名増）

体験者数：42名（10名減）

3. ジュニアグライダークラブ／青少年会員の活動

① ジュニアグライダークラブは、参加者が少ないため休止している。

② 今年度参加した青少年会員は3名（前年比1名増）。3名とも着実に技術を向上させ、内2名は単独飛行を行った。

4. ユース会員の支援

学生および大学を卒業した後も社会人クラブでグライダー活動を継続しようとする若手を、ユース会員として登録した。

ユース会員数：33名（前年比6名増）

5. 古典グライダー活用事業（ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト）

- ① 「サマースカイフェスタ2016」において、ヴィンテージグライダー紹介のパネル展を実施した。
- ② 修復作業を行っていた、ヨゼフ・オベラーヒナー式MG19シュタインアドラー（MG19）の耐空証明を取得し、プロジェクトメンバーを対象にした飛行会および空撮を行った。
 期間：10月8日～9日（9日は雨で中止）
 参加メンバー：5名
 飛行回数：4回
 飛行時間：1時間4分
- ③ 「サマースカイフェスタ2016」において、MG19の飛行展示及びMG19およびシェンプ・ヒルト式Gö3ミニモアの地上展示を行った。
- ④ プロジェクトメンバーに対し、MG19の修復作業状況および飛行会の報告を行った。
 日時：平成29年2月11日（土） 10:00～11:30
 場所：航空会館（東京都港区新橋1-18-1）
 出席者数：20名
- ⑤ VGAとの連携については、連携できる関係を構築するには至っていない。
- ⑥ 航空動態博物館内のヴィンテージ図書コーナーの関係資料の分類・整理・公開充実を図った。

6. 航空青少年団体との連携
 航空青少年団体の受け入れはなかった。

7. イベント支援

- ① 札幌航空ページェント
 開催日：7月24日（日）
 場所：札幌飛行場 陸上自衛隊丘珠駐屯地（札幌市）
 主催：北海道航空協会（公社）北海道スカイスポーツ協会
 支援内容：グライダー飛行（曲技）展示
- ② 2016北海道スカイスポーツフェアin余市
 機材の都合がつかなかったため、参加しなかった。
- ③ 千歳基地航空祭
 開催日：8月7日（日）
 場所：航空自衛隊千歳基地
 主催：航空自衛隊
 支援内容：モーターグライダーの地上展示

8. スカイパーク施設の管理・運営

- ・平成26年4月1日に滝川市と締結した「滝川市航空科学センターの管理運営に関する協定」に基づき、施設の指定管理業務を行った。
 期間：平成26年4月1日～平成29年3月31日

Ⅲ 地域振興に寄与する事業（公益目的事業3）

1. サマースカイフェスタ2016の開催

サマースカイフェスタ2016を以下の要領で開催した。

開催日時：7月31日（日） 9:30～15:00

開催場所：たきかわスカイパーク

共催：滝川市

参加者数：8,000名

イベント内容

- ・グライダーによる曲技飛行
- ・M-02Jの公開飛行、地上展示
- ・ヴィンテージグライダーの飛行展示、地上展示
- ・スポーツカイトの演技飛行
- ・ラジコン飛行機の演技飛行
- ・グライダー、軽飛行機、パラグライダーの体験飛行
- ・朝どり海産物の空輸・販売
- ・モーターグライダーによる空中菓子まき
- ・地上アトラクション
 スチレン飛行機教室

フォルクローレの生演奏
滝川消防署消防車展示
陸上自衛隊滝川駐屯地車両展示
日本航空学園によるフライトシミュレータ体験

- ・滝川クラシックカーミーティングを同時開催し、30年以上前に製造されたクラシックカーの展示および滑走路の展示走行を行った。
- ・同日開催された、新十津川町ふるさと祭に協力し、開会式で軽飛行機のローパスを行った。

2. 「OpenSky4.0」（「風の谷のナウシカに出てくる架空の飛行機メーヴェを実機として作る」プロジェクト）の支援の一環として、サマースカイフェスタ2016において、M-02Jの公開飛行および地上展示を行った。

3. 観光客等の受入

- ① 海外からインターネットでの体験搭乗申し込みを積極的に受け入れた。
外国人体験搭乗者数：96名（香港、台湾、USA、マレーシア、シンガポール、オーストラリア、ロシア、インドネシア、中国、スウェーデン等）（74名増）
- ② 観光プログラムの開発は行わなかったが、滝川市国際交流課から紹介された外国人の体験飛行を実施した。
- ③ H26年度に美唄・富良野・ニセコのスカイスポーツ体験事業者と合同で作成したパンフレットを、イベント会場、リリエントール、札幌駅の観光案内所および滝川市内各施設等で配布した。また、これらの体験事業者が天候等により、体験飛行ができなかった際に、体験希望者の受入を行った。
- ④ インターネット経由で171名（13名増）の体験搭乗の依頼があった。

4. グライダー等による体験飛行会の実施

- ① 滝川市民を対象とした体験搭乗会を実施した。
体験者数：198名（59名増）
実施期間：7月27日（水）～7月30日（土）の4日間
- ② 一般市民を対象とした体験搭乗を実施した。
参加人数：714名（219名増）
実施期間：4月24日～11月1日
- ③ 滝川一心会の体験飛行会の受け入れ
参加人数：9名
実施期間：9月25日～10月23日
- ④ 滝川市ふるさと納税における返礼品として、グライダー体験飛行を提供した。
○今年度送付した搭乗券：17名
○今年度実施した体験飛行：7名

5. 「そらぷちキッズキャンプ」の支援

「そらぷちキッズキャンプ」に参加している子供たちやスタッフにスカイスポーツを体験してもらうため、体験搭乗券を提供した。

IV スカイスポーツに関する調査研究事業(公益目的事業4)

1. スカイスポーツ関連の情報収集・発信

- ① ホームページ、フェイスブックによる情報発信
- ② パンフレットの活用、観光業者との連携
・11月29日に開催された、（一社）北海道体験観光推進協議会主催の北海道観光商談会に出席し、観光事業者にグライダー体験や当協会事業についての紹介を行った。
- ③ 滝川グライダー競技講習会2016（前掲I 4.）および全国グライダーミーティング（前掲I 9.）の際に、国内外のグライダークラブとの情報交換、連携を図った。

2. 研究機関との共同研究

北海道大学低温科学研究所が獲得した科学研究費補助金を活用して、協会管理棟屋上および駐車場に設置されている大気観測装と、グライダーに搭載した観測装置を用いた大気観測を行った。なお、共同研究は今年度で終了するため、観測資材は11月17日に撤収された。

- ・飛行回数：7回

・飛行時間：8時間30分

V フライトサービス局による航空情報提供事業（公益目的事業5）
計画通り実施した。
開局期間：4月1日（水）～11月18日（金）

VI 利用者への施設提供事業(その他の事業1)
計画通り実施した。
宿泊施設の利用状況
・利用者数：延べ223名
・延べ宿泊日数：774日
・1人当たりの平均宿泊日数：3.5日/名
・客室利用率：22%

航空安全

無事故目標 671日を達成した。

管理部門

1. 会員

非会員のスマートレーニングコース参加者に、入会の勧誘を行った。また、体験搭乗者やイベント等の来場者等に、グライダー活動の説明を行い、勧誘に努めた。

会員の入退会状況

2017年3月31日現在

会員種別		H24	H25	H26	H27	H28
正会員	個人	172 15 19	170 7 9	151 7 26	135 10 26	121 8 7
	法人	16 0 1	16 0 1	16 0 0	17 1 0	17 0 0
特別会員	個人	4 0 0	4 0 0	4 0 0	3 0 1	3 0 0
	団体	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0
小計		194	192	173	157	143

小数字 左:入会者数、右:退会者数

なお、正会員数は正会員から賛助会員への変更者がいるため、14名減となった

名誉会員		2	2	2	2	1
賛助会員	個人	10	11	11	11	20
	法人	7	6	6	6	3
連絡会員		2	2	1	1	0
ユース会員		12	17	22	27	34
青少年会員		1	1	2	2	3
総計		228	231	217	206	204

2. 理事会・総会等

・第1回理事会

開催月日：平成28年4月26日（火）

場 所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

決議事項：新規加入会員及び退会者の承認、平成27年度事業報告書及び付属明

細書の承認、平成27年度財務諸表及び関連書類の承認、役員を選任の承認

出席等：議決に必要な出席理事の数5名、出席9名
出席監事の数1名、欠席1名

・第2回理事会

開催月日：平成28年5月18日（金）

場所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：理事の職務の執行状況、「サマースカイフェスタ2016」の準備状況について

決議事項：新規加入会員及び退会者の承認

出席等：議決に必要な出席理事の数5名、出席8名、欠席1名
出席監事の数1名、欠席1名

・第1回総会

開催月日：平成28年5月18日（水）

場所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：平成27年度事業報告書及び付属明細書、平成28年度事業計画及び収支予算、規程の制定

決議事項：新規加入会員及び退会の承認、平成27年度財務諸表および関連書類の承認、役員を選任の承認

出席等：定足数73、出席会員議決数84。出席理事8名。出席監事1名

・臨時理事会

開催月日：平成28年7月21日（木）

場所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：「サマースカイフェスタ2016」の準備状況

決議事項：模型飛行機世界選手権の開催地受入の承認

出席等：議決に必要な出席理事の数5名、出席6名、欠席3名
出席監事の数2名

・第3回理事会

開催月日：平成28年11月24日（木）

場所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：平成28年度事業の執行状況、平成28年度予算の執行状況、職務の執行状況、toto助成事業

決議事項：新規加入会員及び退会者の承認、規程の変更の承認

出席等：議決に必要な出席理事の数5名、出席7名、欠席2名
出席監事の数1名、欠席1名

・第4回理事会

開催月日：平成29年3月24日（金）

場所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：新規加入会員及び退会者、平成28年度決算見込

決議事項：平成29年度事業計画書及び収支予算書の承認、資金の取り崩し方針の承認、役員を選任案の承認、規程の制定及び改正案の承認、「定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等」の承認

出席等：議決に必要な出席理事の数5名、出席7名、欠席2名。
出席監事の数2名。

3. 公益社団法人の運営に関する情報公開

ホームページおよび管理棟掲示板を用いて、法人運営に関する情報を公開した。

4. 業務執行体制の整備と強化

理事9名の体制で業務管理体制を維持するとともに、ボランティアスタッフの協力の下、各種事業を円滑に実施した。

5. その他

- ① M-02Jの試験飛行の支援を行った。
飛行期間：5月22日～9月25日
一般公開日：7月31日
飛行回数：ジャンプ飛行 50回
場周飛行 21回
飛行時間：延べ1時間20分
最高飛行高度：107m
最長飛行時間：5分02分
参加スタッフ：延べ95名
- ② 北海道大学人力飛行機製作サークルが作製した人力飛行機の試験飛行の支援を行った。
飛行日：5月21日、6月3日、6月11日、6月18日、7月9日
参加スタッフ：20名/日
- ③ 電気工事資格を有する協会会員の協力をいただき、事務室蛍光灯のLED化を行い、電気料削減に努めた。
- ④ 「サマースカイフェスタ2017」に関し、「北門信用金庫まちづくり基金」事業に応募し、採択された。
助成金贈呈式：11月28日（月）

※平成28年度事業報告書には、

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成29年 4月

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会